

(22200901)

課題採択に当たっては、肝炎ウイルスの持続感染により生じる肝疾患発症の炎症誘導などの宿主要因を解明することにより、その予防を含めた新たな治療法の開発に資する研究を優先する。

③ 肝炎ウイルス感染における自然免疫応答の解析と新たな治療標的の探索に関する研究

(22201001)

課題採択に当たっては、肝炎ウイルス感染細胞や個体における自然免疫応答の解明を行うことにより、自然免疫応答賦活化を含めた新規治療標的探索を目指す研究を優先する。

④ ウイルス性肝炎に対する治療的ワクチン開発に関する研究 (22201101)

課題採択に当たっては、ウイルス性肝炎に対して、細胞性免疫などの誘導によりウイルス排除や病態改善を目指すワクチンの開発及び実用化に関する研究を優先する。

(ウ) 行政研究分野

① B型・C型肝炎ウイルスの新規感染状況の把握と新規感染防止に関する研究

(22201201)

課題採択に当たっては、B型・C型肝炎ウイルスの新規感染における感染源や経路、頻度などの実態を把握するとともに、新規感染防止の対策に関する研究を優先する。

(エ) 疫学研究分野

① 肝炎ウイルス感染後の長期経過・予後調査及び治療導入対策に関する研究 (22201301)

課題採択に当たっては、肝炎ウイルス感染後の肝硬変を含めた長期経過の実態を把握するとともに、「感染を知らない持続感染者」及び「感染を知ったが治療導入されない持続感染者」の推計を行い、検査から治療まで継ぎ目のない体制整備を目指す行政施策の推進に資する研究を優先する。

② 近未来のウイルス肝炎患者数の動向予測に関する研究 (22201401)

課題採択に当たっては、現行の肝炎対策の状況を踏まえ、統計解析手法を用いた近未来のウイルス肝炎患者数（持続感染者・慢性肝炎・肝硬変・肝がんの内訳を含む）の動向予測に関する研究等を優先する。

【若手育成型】

肝炎研究の分野に新たに参画する研究者を促進し、社会的にも重要な肝炎に関する各種研究の推進を図ることを目的とする研究 (22201501)

本研究では、新たな若手研究者が、肝炎ウイルスに関連する、臨床研究分野、基礎研究分野、行政研究分野、疫学研究分野の研究課題につき、独創性や新規性に富む研究開発課題の提案及び実施を求める。

<研究計画書を作成する際の留意点>

目標を明確にするため、研究計画書の「9. 期待される成果」に、当該研究により期待され

る科学的成果及び当該成果によりもたらされる学術的・社会的・経済的メリットを具体的に記載すること。また、「10. 研究計画・方法」に、年度ごとの計画及び達成目標

を記載するとともに、実際の医療等への応用に至る工程を含めた研究全体の具体的なロードマップを示した資料を添付すること（様式自由）。

なお、研究課題の採択に当たっては、これらの記載事項を重視するとともに、中間評価及び事後評価においては、研究計画の達成度を厳格に評価する。その達成度（未達成の場合にはその理由、計画の練り直し案）如何によっては、研究の継続が不可となる場合もあり得ることに留意すること。

平成23年度厚生労働科学研究費補助金公募要項(抜粋)

<事業概要>

B型・C型肝炎ウイルスに現在感染している者は、全国で合計約300～370万人と推定されており、国内最大級の感染症である。感染を放置すると肝硬変、肝がんといった重篤な病態に進行し、我が国の肝がんによる死亡者数の約9割がB型・C型肝炎ウイルス起因と報告されている。平成20年6月に、国内の肝炎研究専門家による肝炎治療戦略会議の中で、肝炎研究の今後の方向性やその実現に向けた対策についての「肝炎研究7カ年戦略」が取りまとめられた。さらに、平成22年1月に、肝炎克服に向けた対策を総合的に推進することを目的とし、肝炎対策の推進に係る国の責務等を規定する肝炎対策基本法(平成21年法律第97号)が施行された。同法において、国は、肝炎の治療法等に係る研究促進のため、必要な施策を講じることとされているところである。

このようなことから、肝炎ウイルス持続感染機序の解明や肝疾患における病態の進展予防法及び新規治療法の開発等を行う本研究事業は、国民の健康面での安心・安全の実現のために重要であり、今後も肝炎に関する疫学、基礎、臨床研究等を進め、引き続き、肝炎治療実績の大幅な改善につながる成果の獲得を目指す研究を推進する。

この公募は、本来、平成23年度予算成立後に行うべきものであるが、できるだけ早く研究を開始するために、予算成立前に行うこととしているものである。従って、成立した予算の額に応じて、研究費の規模、採択件数等の変更が生じる場合等がある。

<新規課題採択方針>

いまだ解明されていない肝炎等の本態解明に迫り、さらにウイルス性肝炎に起因する肝がんにおける診断マーカーなどの新たな検査法の新たな検査法の開発や、肝硬変も含めた肝疾患の新規治療法の開発等に資する研究を採択する。

研究費の規模:1課題当たり

一般公募型① 40,000千円～60,000千円程度(1年当たりの直接研究費)

一般公募型② 20,000千円～30,000千円程度(1年当たりの直接研究費)

一般公募型③ 20,000千円～30,000千円程度(1年当たりの直接研究費)

一般公募型④ 40,000千円～60,000千円程度(1年当たりの直接研究費)

若手育成型 2,000千円～8,000千円程度(1年当たりの直接研究費)

研究期間:一般公募型①～④ 1～3年 若手育成型 1～3年

新規採択予定課題数:8課題程度、うち「若手育成型」については5課題程度

※各研究課題について原則として1課題を採択するが、採択を行わない又は複数の採択をすることがある。

若手育成型の応募対象:

平成23年4月1日現在で満39歳以下の者(昭和46年4月2日以降に生まれた者)

※新規採択時にのみ本条件を適用する。

※満年齢の算定は誕生日の前日に1歳加算する方法とする。

※産前・産後休業及び育児休業取得した者は、その日数を応募資格の制限日に加算することができる。

<公募研究課題>

【一般公募型】

① 肝炎ウイルス感染モデル動物等を用いた宿主、薬剤、ウイルスの相互作用の分子基盤の解明に資する研究(23230101)

B型及びC型肝炎ウイルス感染モデル動物等を用いて、宿主とウイルスの相互作用、及び治療抵抗性の症例から分離したウイルス等と薬剤との相互作用の分子機構の解明を行い、これらに基づいた新規、既存の治療薬の有効な投与方法の開発に資する研究。

② 肝移植後のウイルス性肝炎等の病態進展制御法に関する研究(23230201)

B型及びC型肝炎ウイルス感染者の肝移植後における、効果的な病態進展制御法を開発し、標準化を行う研究。

③ 食事療法等によるウイルス性肝疾患患者のQOLの改善及び病態進展抑制に資する研究(23230301)

B型及びC型肝炎ウイルス慢性肝炎並びに肝硬変等の病態に進行した患者の各々の病態における、QOLの改善及び病態進展抑制を目的とした、医療従事者及び患者等が利用できる具体的なメニュー案を含む食事療法等に関して標準化を行う研究。

④ B型肝炎ウイルス感染の病態別における宿主因子等について、網羅的な遺伝子解析を用い、新規診断法及び治療法の開発を行う研究(23230401)

B型肝炎ウイルス感染の慢性肝炎・肝硬変・肝がんといった各々の病態における、宿主因子等の網羅的な遺伝子解析により、新規診断法及び治療法の開発に資する研究。

【若手育成型】

○ 当該研究分野での研究を活性化し、将来にわたって肝炎研究を発展させる研究者を育成し、社会的にも重要な肝炎に関する各種研究の推進を図ることを目的とする研究(23230501)

本研究では、若手研究者が、肝炎ウイルスに関連する、臨床、基礎、疫学等研究分野の研究課題について、独創性や新規性に富む研究開発課題の提案し、実施することを求める。

<研究計画書を作成する際の留意点>

目標を明確にするため、研究計画書の「9. 期待される成果」に、当該研究により期待される科学的成果及び当該成果によりもたらされる学術的・社会的・経済的メリットを具体的に記載すること。

また、「10. 研究計画・方法」に、年度ごとの計画及び達成目標を記載するとともに、実際の医療等への応用に至る工程を含めた研究全体の具体的なロードマップを示した資料を添付すること(様式自由)。

なお、研究課題の採択に当たっては、これらの記載事項を重視するとともに、中間評価及び事後評価においては、研究計画の達成度を厳格に評価する。その達成度(未達成の場合にはその理由、計画の練り直し案)如何によっては、研究の継続が不可となる場合もあり得ることに留意すること。

研究評価支援システム 評価者操作マニュアル

操作説明書

平成 23 年 3 月 10 日

平成 23 年 3 月

目次

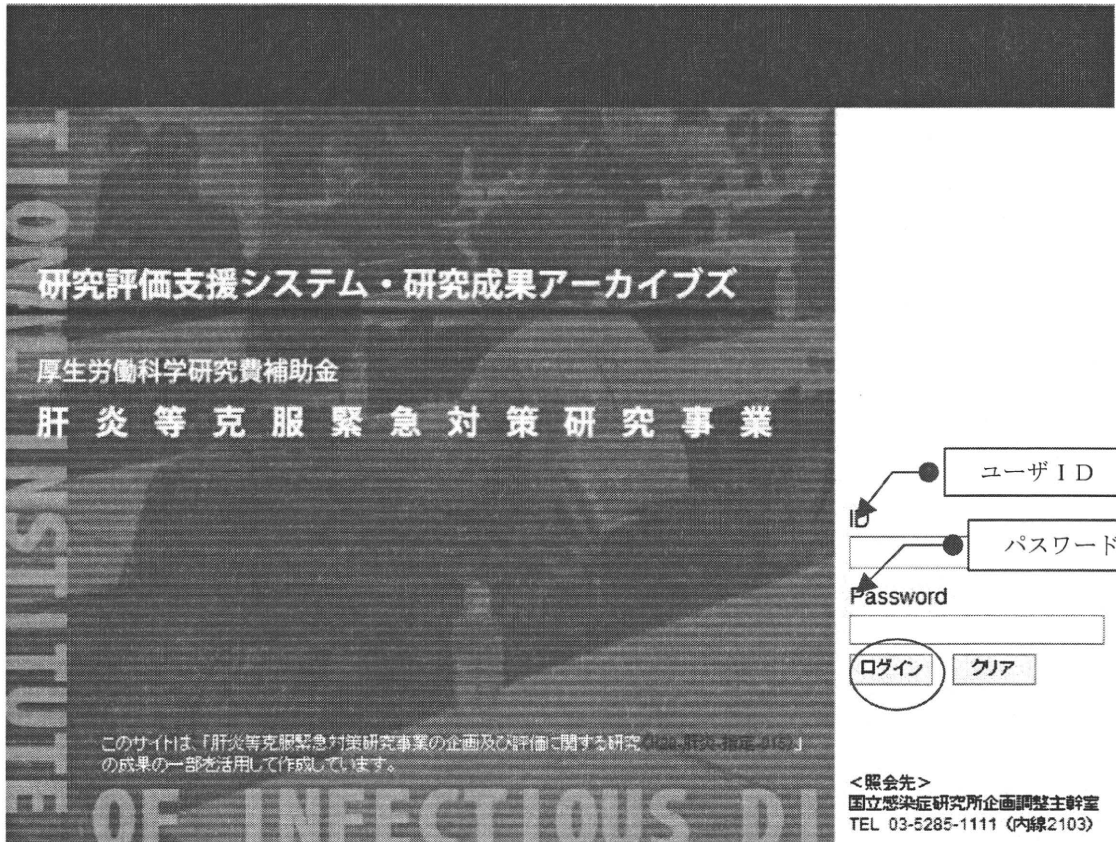
1.1 W e b 研究評価支援システムの起動（ログイン）	1
操作説明.....	1
1.2 評価課題一覧画面	3
画面説明.....	3
処理説明.....	4
1.3 評価入力・訂正画面	5
画面説明.....	5
評価入力項目説明	8
処理説明.....	9
1.4 確認画面	10
画面説明.....	10

1. 評価者操作説明

1.1 Web 研究評価支援システムの起動（ログイン）

ブラウザ（インターネットエクスプローラー）から研究評価支援システムを起動し利用者認証を受けなければ研究評価支援システムを利用する事は出来ません。

下記の方法で、研究評価支援システムに対して、自分のユーザIDとパスワードを入力して、ユーザ認証処理¹を行って下さい。



【ログイン画面】

操作説明

研究評価支援システムの起動ログインを行う場合

(1) 研究評価支援システムの起動を行う。

- ブラウザのアドレス欄に「http://www.medical-bank.jp/kanen/」を入力しエンターボタンを押下して下さい。
- ログイン画面が表示されます。（下記【図ーログイン画面】を参照）

(2) ログイン画面にユーザIDとパスワードを入力して下さい。

- ログイン画面に自分のユーザIDとパスワードを入力して下さい。
 - ユーザID欄には自分のIDを入力して下さい。
 - パスワード欄には設定した自分のパスワードを入力して下さい。
 - パスワード欄は●で表示されます。

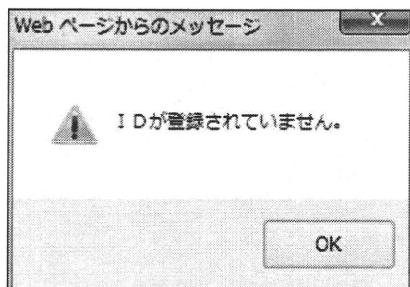
¹ ユーザ認証とは：

システムに事前に登録されているユーザIDとパスワードを入力されたユーザIDとパスワードの一致をチェックし本人性の確認を行うことです。

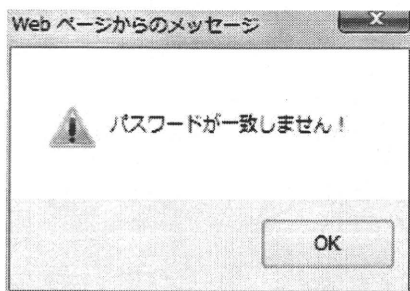
1. 評価者操作説明

- 正しく入力できたら「ログイン」ボタンを押下して下さい。
- ユーザ認証が正常に行われ、評価課題一覧画面が表示されればシステム起動（ログイン）は終了です。

→ユーザIDとパスワードが違っていた場合、システム起動（ログイン）は出来ません、（下記、エラーメッセージ画面が表示されます）再度、正しいユーザIDとパスワードを入力して下さい。



原因：ユーザーIDの入力誤り



原因：パスワードの入力誤り

1. 評価者操作説明

1.2 評価課題一覧画面

評価課題一覧画面は、ユーザ認証処理が完了した時点で表示されます。
 一覧画面の初期表示は「全申請」が表示されます。

メニューバー

評価課題		事業概要		1年目 2年目 3年目 ログアウト		肝炎等克服緊急対策研究事業		
評価対象件数:48件								
※評価対象外の課題はバックカラーで表示されており、クリックすると評価情報をご覧いただけます。								
No.	年度	状態	課題番号	研究課題名	研究代表者	所属施設	職名	総合点
1	3	未	H20-肝炎一般-001	肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発	有井 滋樹	国立大学法人東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科	教授	
2	3	未	H20-肝炎一般-002	癌胎児性抗原を利用した肝がんの超早期診断法と発症予防ワクチンの開発	中面 哲也	国立がんセンター東病院 臨床開発センターがん治療開発部	機能再生室長	
3	3	未	H20-肝炎一般-003	インターフェロンの抗肝線維化分子機構の解明とその応用	河田 則文	大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆腸病態内科学	教授	
4	3	未	H20-肝炎一般-004	肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外の治療法に関する研究	佐田 通夫	久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門	教授	
5	3	未	H20-肝炎一般-005	肝発癌抑制を視野に入れた肝硬変の栄養療法ガイドライン作成を目指した総合的研究	鈴木 一幸	岩手医科大学医学部消化器・肝臓内科	教授	
6	3	未	H20-肝炎一般-006	データマイニング手法を用いた効果的なC型肝炎治療法に関する研究	泉 並木	武蔵野赤十字病院消化器科	副院長、部長	
7	3	未	H20-肝炎一般-007	データマイニング手法を用いた効果的な治療方法に関する研究	八橋 弘	独立行政法人公立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター	治療研究部長	
8	3	未	H20-肝炎一般-008	非アルコール性脂肪性肝疾患の病態解明と診断法、治療法の開発に関する研究	岡上 武	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会吹田病院内科	院長	
9	3	未	H20-肝炎一般-009	ヒト肝細胞キメラマウスを用いた治療抵抗性の肝炎に関する研究	茶山 一彰	広島大学病院 消化器内科	教授	
10	3	未	H20-肝炎一般-010	肝炎ウイルスワクチン実用化のための基礎的研究	石井 孝司	国立感染症研究所ウイルス第二部	室長	

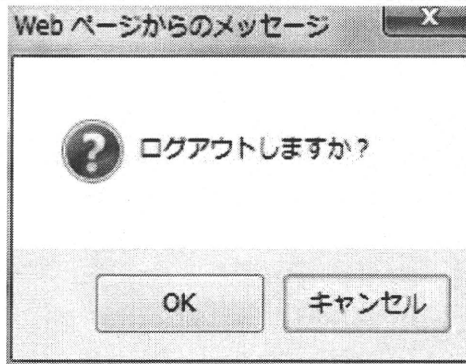
【評価課題一覧画面】

画面説明

メニューバー（表示機能文言（リンク文字）が朱色になります）

- (1) 「事業概要」をクリックすると事業概要画面が表示されます。
- (2) 「全申請」をクリックすると全申請評価課題一覧画面が表示されます。
- (3) 「1年目」をクリックすると1年目の評価課題一覧画面が表示されます。
- (4) 「2年目」をクリックすると2年目の評価課題一覧画面が表示されます。
- (5) 「3年目」をクリックすると3年目の評価課題一覧画面が表示されます。
- (6) 「ログアウト」をクリックするとログアウトされログイン画面に遷移します。業務を終了する時にログアウトを行って下さい。

1. 評価者操作説明

**明細部**

- (1) 評価対象件数を表示。
→ログインした評価委員に割り当てられた評価課題件数が表示されます。
- (2) 評価課題明細を表示。
→白い背景色の明細行の課題は、評価対象外の評価課題です。

処理説明

評価課題一覧画面から下記、業務処理画面に遷移します。

1.3 評価入力・訂正業務

評価課題一覧画面から背景色の明細行のリンク文字（課題番号・研究課題名・研究代表者）をクリックすると評価入力・訂正画面に遷移します。

評価参照

評価課題一覧画面から白い背景色の明細行のリンク文字（課題番号・研究課題名・研究代表者）をクリックすると評価参照画面（入力不可）に遷移します。

1. 評価者操作説明

1.3 評価入力・訂正画面

評価課題一覧画面より評価入力・訂正画面が表示されます。

事後申請課題評価 | 事業概要 | ログアウト 肝炎等克服緊急対策研究事業

次へ 一覧画面へ戻る

評価No	1	課題番号	H20-肝炎-一般-001	研究代表者名	有井 游樹	所属施設	国立大学法人東京医科歯科大学 大学院医学総合研究科	職名	教授
研究課題名	肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発								
広域研究分野									

*入力途中で終了した場合にはデータは保存されませんのでご注意ください。

[成果概要PDF](#)

評価委員名	評価
研究の厚生科学分野における重要性	<input type="text"/> / 10
研究の厚生科学分野における発展性	<input type="text"/> / 10
研究の独創性・新規性	<input type="text"/> / 10
研究目標の実現性	<input type="text"/> / 10
研究者の資質・施設的能力	<input type="text"/> / 10
総計	0 / 50

研究内容の倫理性 妥当である 検討を要する

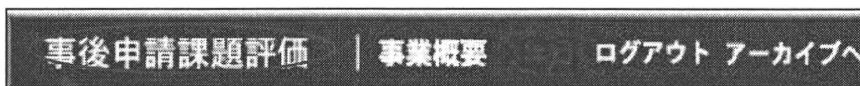
注①評価を「1」または「10」とした場合や特記すべきこと(評価できる点、疑問の点等)のある場合には、「評点者のコメント」の欄にその旨を記入すること。
注②「検討を要する」とした場合は、「評点者のコメント」欄にその旨を記入すること。

評点者のコメント

【評価入力・訂正画面】

画面説明

(1) メニューバー



表示されている申請年度年度の表示
 1年目：事前申請課題評価
 2年目：中間申請課題評価
 3年目：事後申請課題評価

1. 評価者操作説明

(2) 画面遷移

- 「前へ」：前の評価課題の評価入力・訂正画面へ遷移します。前の評価課題が無い場合は「前へ」は表示されません。
- 「次へ」：次の評価課題の評価入力・訂正画面へ遷移します。次の評価課題が無い場合は「次へ」は表示されません。
- 「一覧画面へ戻る」：1.2 の評価課題一覧画面へ遷移します。



(3) 評価課題基本情報の表示

評価No.・課題番号・研究代表者名・所属施設・職名・研究課題名・応募研究分野が表示されます。

評価No	2	課題番号	H20-肝炎一般-002	研究代表者名	中面 哲也	所属施設	国立がんセンター東病院 臨床開発センターがん治療開発部	職名	機能再生室長
研究課題名	癌胎児性抗原を利用した肝がんの超早期診断法と発症予防ワクチンの開発								
応募研究分野									

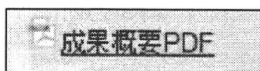
(4) 評価委員の表示

ログインした評価委員名が表示されます。

評価委員名	評価 一郎
-------	-------

(5) 成果概要PDFファイルの表示

成果概要PDFファイルがサーバーにアップされている場合、表示されます。リンク文字をクリックすると別画面で成果概要PDFファイルが表示されます。



1. 評価者操作説明

(6) 研究計画書PDFファイルの表示

研究計画書PDFファイルがサーバーにアップされている場合、表示されます。

様式A (3) 厚生労働科学研究費補助金交付申請書

平成21年度厚生労働科学研究費補助金(新学インフラ)研究新機、再費部分(学究事業)交付申請について

申請者氏名 桜川 麗子

生年月日 1982年02月11日

研究課題名(課題番号) 新規に発生しているインフルエンザウイルスによる動物感染疫学の発生学、病原学的解析と診断・治療法に関する研究(19-000-1-002)

研究期間(開始年月日) 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

申請者	①所属研究機関	北見大学大学院生命科学研究科・北見大学北見生命科学研究所		
	②氏名	桜川 麗子		
	③所属研究機関	〒108-8641 東京都港区白金3-4-1		
	④所在地	〒108-8641 東京都港区白金3-4-1		
	⑤電話番号	Tel: 03-5791-6463 Fax: 03-5791-6464		
	⑥E-Mail	E-Mail: sakawa@med.kita-u.ac.jp		
指導教員	⑦所属研究機関	⑧学位	医学博士	
	⑨氏名	⑩専攻科	小児科学・小児感染症学・病態発生学	
	⑪所属研究機関	〒108-8641 東京都港区白金3-4-1		
⑫所在地	〒108-8641 東京都港区白金3-4-1			
⑬電話番号	Tel: 03-5791-3124 Fax: 03-5791-6335			
⑭E-Mail	E-Mail: macozumi@kita-u.ac.jp			

1. 評価者操作説明

(7) 評価入力及び訂正入力

評価点の入力及び評価者コメントの入力・訂正入力を行います。

研究の厚生科学分野における重要性	<input type="text" value="1"/> / 10
研究の厚生科学分野における発展性	<input type="text" value=""/> / 10
研究の独創性・新規性	<input type="text" value=""/> / 10
研究目標の実現性	<input type="text" value=""/> / 10
研究者の資質・施設の能力	<input type="text" value=""/> / 10
総計	0 / 50

研究内容の倫理性 妥当である 検討を要する

主1) 評価を「1」または「10」とした場合や特記すべきこと(評価できる点、疑問の点等)のある場合のみ、「評点者のコメント」の欄にその旨を記入すること。
主2) 「検討を要する」とした場合のみ、「評点者のコメント」欄にその旨を記入すること。

評点者のコメント

評価できる点、推進すべき点

疑問点、改善すべき点その他助言等

倫理性について検討を要する場合、その理由等

評価入力項目説明

No.	入力項目	入力	備考
1	研究の厚生科学分野における重要性	必須	1～10の範囲内で半角数字入力
2	研究の厚生科学分野における発展性	必須	1～10の範囲内で半角数字入力
3	研究の独創性・新規性	必須	1～10の範囲内で半角数字入力
4	研究目標の実現性	必須	1～10の範囲内で半角数字入力
5	研究者の資質・施設の能力	必須	1～10の範囲内で半角数字入力
6	研究内容の倫理性	必須	「妥当である」「検討を要する」の一方を選択する
7	評価できる点、推進すべき点	任意	上記評価点で10点入力が行われた場合、入力必須
8	疑問点、改善すべき点その他助言等	任意	上記評価点で1点入力が行われた場合、入力必須
9	倫理性について検討を要する場合、その理由等	任意	研究内容の倫理性で「検討を要する」を選択した場合、評価者コメント一箇所入力必須

1. 評価者操作説明

処理説明

評価入力・訂正画面から評価点入力及び評価者コメント入力・訂正を行います。

1.4 確認画面の表示

評価入力・訂正画面から評価点入力及び評価者コメント入力・訂正を行い「確認」ボタンを押下すると入力項目のチェックを行い、エラーが存在しない場合、入力確認画面に遷移します。

エラーが存在する場合、エラーメッセージとエラー項目の背景色がピンク色に変わります、エラー項目を修正して再度「確認」ボタンを押下して下さい。



注1)評価を「1」または「10」とした場合や特記すべきこと(評価できる点、疑問の点等)のある場合には、「評点者のコメント」の欄にその旨を記入すること。
注2)「検討を要する」とした場合には、「評点者のコメント」欄にその旨を記入すること。

評点者のコメント
評価できる点、推進すべき点
疑問点、改善すべき点その他助言等
倫理性について検討を要する場合、その理由等

一番目の評価が未入力です。
「評価できる点、推進すべき点」欄が未入力です。

エラーメッセージ

確定

一時保存

1. 評価者操作説明

1.4 確認画面

評価入力・訂正画面より評価入力を行い「確認」ボタンを押下しエラーが無い場合表示されます。

事後申請課題評価 | 事業概要 | ログアウト | 肝炎等克服緊急対策研究事業

評価No.	4	課題番号	H20-肝炎一般-001	研究代表者名	有井 遊樹	所属施設	国立大学法人東京医科歯科大学 大学院歯学部総合研究科	職名	教授
研究課題名	肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発								
応募研究分野									
評価委員名	評価 一郎								
研究の厚生科学分野における重要性	4/10	評点者のコメント							
研究の厚生科学分野における発展性	10/10	評価できる点、推進すべき点							
研究の独創性・新規性	5/10	良好							
研究目標の実現性	5/10	疑問点、改善すべき点その他助言等							
研究者の資質・施設的能力	5/10	なし							
総計	29/50	倫理性について検討を要する場合、その理由等							
研究内容の倫理性	妥当である	なし							

注1) 評価を「」または「e」とした場合や特記すべきこと(評価できる点、疑問の点等)のある場合は、「評点者のコメント」欄にその旨を記入すること。
注2) 「検討を要する」とした場合のみ、「評点者のコメント」欄にその旨を記入すること。

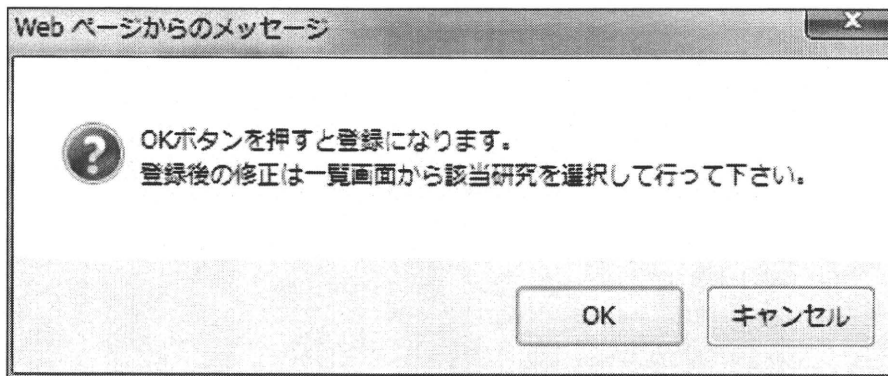
戻る 登録

*一度登録した研究の修正は一覧画面から該当研究を選択して行って下さい。

【評価入力・訂正画面】

画面説明

- (1) 入力した評価内容が表示されます。
- (2) 「戻る」ボタン押下で評価入力・訂正画面に戻ります。
- (3) 「登録」ボタン押下で登録確認のポップアップ画面が表示されます。



「OK」を押下するとデータベースに評価情報が登録され評価入力・訂正画面に戻ります。

「キャンセル」を押下すると確認画面に戻ります。

